

高校生防災フォーラム

(高大連携高校生防災教育推進事業)

平成25年7月25日、26日、29日、8月26日に、名古屋大学、愛知県防災局、愛知県教育委員会の主催による高大連携高校生防災教育推進事業「高校生防災セミナー」が開催されました。同セミナーは、南海トラフ巨大地震が懸念される愛知県において、学校や地域の防災力向上に貢献できる防災リーダーの育成を主な目的とし、2010年度より毎年開催されており、愛知県内の高等学校30校(国立、県立、名古屋市立、私立)から各校生徒4名と教員1名の合計150名が2年間に渡って参加します。平成25年と26年はIV期校として山田高校も参加しています。

平成25年12月25日(水)には、今夏催された「高校生防災セミナー」の参加校が、その後の防災活動の実践状況について報告する「高校生防災フォーラム」が開催され、愛知県内の高等学校30校、大学教員、自治体防災担当者および防災ボランティアが参加しました。名古屋大学ES総合館ESホールで行われた午前の部では、本校が文化祭での催しを通して防災意識の啓発に取り組んだ発表をしました。本校は帰宅困難問題について取り組み、本校から生徒全員の自宅までの経路がわかる地図を作成したことはユニークな取り組みであると大変注目され、NHKラジオ「タ刊ゴジラじ」でも放送されました。名古屋大学環境総合館で行われた午後の部は、学校間での防災活動に関する意見交流を分科会形式で行い、高校生同士や自治体防災担当者等専門家と高校生の意見交換を行いました。

